



ふるさとを
守り、創る。



西区の要に!

たむら要介
ようすけ

プロフィール



生年月日 昭和43年6月16日生 50歳
家族構成 両親・妻・長男・次男・犬1・猫2匹
とともに大家族同居中
趣味 草野球・スキー・庭いじり 等
資格 宅地建物取引士・防災士



昭和50年 新通小学校入学・坂井東小学校
昭和59年 坂井輪中学校卒業
昭和62年 新潟高等学校卒業
平成 6年 青山学院大学経営学部卒業
平成 6年 地元建設会社に入社、主に東京支店勤務
平成19年 新潟に戻り、西区蒲山に居住
平成22年 西区笠木に転居、翌年PTA会長に
平成24年 会社退職、衆議院議員公設秘書就任
平成27年 新潟市議会議員に初当選
平成31年 2期目に挑戦

主な活動、
役職



- 新潟市議会議員(西区選出 新市民クラブ所属)
- 総務常任委員会/農業活性化調査特別委員会
- 少子化対策、災害対策、スポーツ、男女平等参画など議連所属
- 自民党新潟支部副部長・青年局副幹事長

(主な顧問先)

私立幼稚園・認定こども園協会/造園建設業協会
西地域農業振興協議会/全日本不動産協会新潟支部
宅建協会「まちづくり流通委員会」/ドローン普及協会
新潟県ビル管理協同組合/新川マリンクラブ
アルビレックスランニングクラブ
ソフトバレー協会西地区等



これまでのネットワークを最大限に活かし、
実行力ある政治家を目指します。
10年、20年、30年先の新潟市を
見据え、新しい政治の形、
まちの形を模索し、
創ります。

新潟市議会議員

たむら要介



新潟県、新潟市の橋渡し役として全力を尽くします。



たむら要介後援会事務所

たむら要介事務所

〒950-2162 新潟市西区五十嵐中島4-23-8
TEL:025-378-0592 FAX:025-378-0598

小新・小針後援会連絡所

〒950-2023 新潟市西区小新1836-1 田村様宅敷地内
TEL:025-261-2266

E-mail:yousuke0616tamura@gmail.com

<http://y-tamura.net>

たむら要介

「ふるさとを守り、創る。」

子ども達が誇れるふるさと新潟を守り、そして創る。 初志を大切に、地域の皆さまの声をひとつひとつ具現化していきます。



「何とかやりくりをしながら頑張っている方々に冷や水をかけてまで皆さんが守るべき文化創造都市とは一体何なのでしょう。」

■平成30年2月議会 一般質問/
本市の文化イベント政策について

昨年の全事務事業点検において、多くの事業、市民イベントや子どもたちの教育の助成などが廃止又は減額となるなか、水と土の芸術祭を筆頭とした本市主導の文化イベント施策は継続となりました。次世代に繋ぐべきものは何なのか。本市は文化ありき、市民不在になっていませんかと問うています。



「4車線化は地域の悲願。中央環状の価値を高めるためにも重要なポイントなのです。」

■平成29年2月議会 一般質問/
新潟西バイパス曾和IC先複線化について

この質問の後、新潟西バイパス曾和IC先、田島交差点を挟んでの慢性渋滞の解消に向けて、「期成同盟会」が立ちあがりました。昨年12月、中原市長と共に国への要望活動を終え、いよいよ事業予算化に向けた最終局面に入っています。

予算化まであと一歩!



「同じように悲鳴をあげている多くのひまわりクラブが存在していることが容易に想像できます。」

■平成28年9月議会 一般質問/
ひまわりクラブの環境改善

平成27年度より小学校4年～6年までの受入を開始しましたが、受入施設の環境改善が急務となっています。一定の改善は進んでいますが時間の延長を含め、ひまわりクラブの課題はまだ山積しています。

「地域からこの声があがっていることも忘れてはいけません。何か起きてからでは遅いのです。」

■平成29年6月議会 一般質問/
地域防犯カメラの設置について

この質問を取り上げた翌年、西区で悲しい事件が起きてしまいました。この時点で既に地域の防犯カメラ設置要望の声があがっていたのです。プライバシー、人権も大切ですが、市民の生命、財産を守ることが第一優先です。

議場で
皆さまの
声を
繋ぎます。



「もっと頑張る農家に向けた骨太の発信をお願いしたい。強い産業として農業を育てるという気概を伝えてほしい。」

■平成27年6月議会 一般質問/
農業特区について

農業特区について、規制緩和による企業参入が始まりましたが、農業政令市を標榜する本市にとっては、既存農家との協力体制が不可欠であり、より骨太な施策が必要であると訴えました。

「あえて学校の統廃合と言わせてもらいますと、入口を間違えればその地域を壊しかねない大きな問題につながる可能性もあるでしょう。」

■平成27年6月議会 一般質問/
財政健全化計画に対して

厳しい財政化のなか、公共施設の維持更新が厳しい状況であることは理解しますが、地域の実情を十分に考慮しなければなりません。丁寧な説明、住民理解が必要です。

「これは諦めろということなのでしょう。新潟観光のために何とか死守していただきたい。」

■平成29年9月議会 一般質問/
SLの高架駅ホーム乗り入れについて

SLばんえつ物語号が高架となる新潟駅への乗り入れを行わないという方向性で調整を行っています。新しい新潟駅が拠点性を失ってどうするのでしょうか。市長からも見直しを求める方針であるとの答弁をいただきました。



中原市長への
初質問

「是非、中原丸に元気な若手を呼びこんでいただきたいと思うのですが。市長、如何でしょうか。」

■平成30年12月議会 一般質問/
産業振興策について(創業支援)

新市長への初質問は「経済再生」。企業誘致も大切ですが、若手世代へのチャレンジ支援も必要であると訴えました。新潟発の新企業、産業を育てていく姿勢を示すことも重要です。右は新潟空港についての寄稿です。HPでご覧いただけます。

